

事務連絡

令和5年7月21日

公益財団法人 日本訪問看護財団 御中

厚生労働省医政局看護課
看護サービス推進室

令和5年度 厚生労働科学研究

「看護職及び特定行為研修修了者による医行為の実施状況の把握・評価のための調査研究」へのご協力のお願い（依頼）

看護師の特定行為研修制度の推進に当たりましては、平素より格別のご協力、ご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

特定行為研修が開始され約8年が経過し、その間に社会情勢の変化や医療技術の発展等により医療を取り巻く状況も年々変化してきています。こうした中で今後の特定行為研修制度の推進にかかる検討のため、今般、令和5年度厚生労働科学研究費補助金「看護職及び特定行為研修修了者による医行為の実施状況の把握・評価のための調査研究」において、医療機関・施設等の医療現場における看護師による医行為の実施状況及び看護師による専門性の発揮がさらに今後想定される医行為について調査を実施することとしました。

本調査により様々な医療現場の実態等を把握していくには、可能な限り多くのデータを収集することが重要となります。つきましては、大変ご多忙のところ恐縮ですが、貴財団の看護管理者等の方々の本調査に対するご理解とご協力をいただきますよう宜しくお願い申し上げます。

記

1. 調査対象

医療機関・施設等の医師、看護管理者

2. 調査期間

令和5年7月1日（土）～令和5年10月31日（火）

3. 調査に関するお問い合わせ先・返送先（調査事務局）

厚労科研「看護職及び特定行為研修修了者の医行為の実施状況の把握・評価のための調査研究」の事務局 自治医科大学看護学部/看護師特定行為研修センター 村上礼子・川上勝

メールアドレス：22ia1012@jichi.ac.jp

以上

担当

厚生労働省医政局看護課看護サービス推進室

電話(代表)03-5253-1111

専門官 羽田 忍 (内線 4179)

係長 松田 咲野 (内線 4176)